

ぶどうウイルスフリー樹の生育と果実品質

I キャンベル・アーリー

園試大迫試験地

1. 背景とねらい

ぶどうのウイルスフリー樹は、その特性として高品質、高収量などが期待できることから、数種類の品種について検討した。その中で本県の主要品種であるキャンベルアーリーのウイルスフリー樹について生育と果実品質を昭和63年から検討した結果、一応の知見が得られたので指導上の参考に供する。

2. 技術の内容

- 1) 発芽、開花期はやや早いか同等であり、特に非ウイルスフリー樹（以下普通樹）との差は認められなかった。
- 2) 生育はウイルスフリー樹が普通樹に比較して旺盛であり、樹冠の拡大は早い。
- 3) 糖度の上昇が早く、果実の着色始期は普通樹と同程度であるが、着色進度は房内で均一に進み、収穫は1週間程度早い。また、すぐり収穫も少なくて済む。
- 4) 果実品質は普通樹と比較して高糖度、低酸である。
- 5) 登熟は、普通樹に比較して早い時期から始まり、登熟率も高い傾向にある。
- 6) 適応地域 県下全域

3. 指導上の留意点

- 1) 若木時代（4～5年生）は果粒がやや小さい傾向にあるので粒抜き等房作り作業は吟味する。
- 2) 生育が旺盛であるため生育に応じて間伐時期を厳守する。
- 3) その他栽培管理は普通樹に準ずる。

4. 当該事項にかかる試験研究課題

大粒種の省力多収技術の確立

5. 参考文献・資料

- 1) 昭和63年度～平成2年度 岩手園試果樹試験成績書

6. 試験成績の概要

供試樹の来歴

種 類	台木	入手先
ウイルスフリー樹	自根	日本種苗協会
普通樹	5 B B	県種苗センター

表1 果実品質

試験年次	種 類	房重 (g)	房長 (cm)	粒重 (g)	糖度 (Brix%)	酸 (g/100ml)	含核 (粒/個)	収穫日 (月日)
1988年	ウイルスフリー樹	203.4	—	—	12.3	0.88	—	9/12
	普通樹	204.8	—	—	10.8	0.87	—	9/12
1989年	ウイルスフリー樹	268.8	15.4	5.6	16.2	0.45	2.3	9/6
	普通樹	298.6	15.4	5.3	13.9	0.57	3.0	9/13
1990年	ウイルスフリー樹	344.4	16.1	5.7	15.6	0.34	3.5	9/6
	普通樹	306.6	15.5	6.0	15.1	0.54	3.6	9/6

表2 果実糖度上昇程度

(単位: B r i x %)

試験年次	種 類	8月15日	8月25日	9月 5日	9月15日
1989年	ウイルスフリー樹	—	13.6	15.6	16.2
	普通樹	—	11.4	13.4	14.8
1990年	ウイルスフリー樹	10.2	13.9	15.6	18.6
	普通樹	8.2	12.6	15.1	16.8

表3 時期別収量

(単位: k g / 樹)

試験年次	種 類	9月 6日	9月13日	9月19日	10月4日
1989年	ウイルスフリー樹	7.2	—	2.5	—
	普通樹	—	4.3	—	6.5
1990年	ウイルスフリー樹	14.7	8.6	—	—
	普通樹	2.4	—	—	6.8